

国語研究

第八十三号

中古和文の終助詞ナ……………	富岡 宏太…1
『菊葉和歌集』における助動詞「らむ」について ——『新統古今和歌集』の「らむ」研究補遺を兼ねて——	色川 大輔…17
………	
仮名成立史上の「讃岐国司解端書」の位置付け……………	中山 陽介…29
中古中世における「むとす」と「むず」……………	鈴木 薫…左39
源氏物語における「連体形—サ」について ——「玉の小櫛」の記述をめぐって——……………	三宅 清…左27
北奥方言の昇り核の由来……………	上野 善道…左1